

# 令和8年度事業計画

南界園

## 1. 重点課題に対する取り組みについて

### (1) 職員の確保と生産性の向上

#### ア. 外部環境

国内生産人口の減少・少子高齢化が益々加速する状況の中、高齢者福祉分野におきましては慢性的な人材不足に加え、新型コロナウイルス感染症などの影響による経営悪化は深刻となっています。

更に種子島では2035年に島内人口がピークを迎える中、自衛隊馬毛島基地建設工事が先10年延長されるなど、他産業においても島内賃金格差による日本人の人材不足、交通量の増加・建設資材の高騰、家賃の高止まり、外国人労働者の急激な増加などが顕著に見受けられ、島内の高齢者施設の規模縮小・廃業、同業者による介護職員の引き抜きなど高齢者を取り巻く環境は「負のスパイラル」となっています。

このように施設経営においては「待ったなし」の状況でありますので効率的な事業を継続するため、外国人技能実習生等の迅速かつ計画的な雇用など介護職等の人材不足の解消を図りつつ、見守りシステムを始めとするICT機器及び介護ロボット等の積極的な導入、科学的介護情報システム(LIFE)、等を活用した生産性の向上に努めます。また、施設全体の規模見直しや島外からの雇用確保の観点から宿舎建設に向け取り組んでいきます。

#### イ. 重点的な取組

- (ア) 職員募集対策の強化(外国人技能実習生等の雇用に伴う宿舎の建設をはじめ魅力的な職場づくりの推進)
- (イ) 働きやすい職場環境の創出(2026年労基法改正に伴う業務見直し・働き方改革)
- (ウ) 職種間の賃金格差の調整(キャリアアップへの道筋の確立)
- (エ) 職員のスキルアップとそれに応じた処遇の整備
- (オ) 見守りシステム等の活用をはじめとしたICT機器等導入の推進による上位加算の取得
- (カ) 介護ニーズを見据えた稼働床の見直し

### (2) 医療支援体制の強化と地域共生社会の推進

#### ア. 外部環境

高齢者施設においては、感染症予防対策をはじめとした医療機関との連携の強化が求められています。感染症・災害発生時の業務継続計画の定期的な見直しを順次進め、看取りの実施や医療・介護の連携推進と水際対策の強化を継続します。また嘱託医、協力医療機関との関係をさらに強固なものにするべく法人本部と連携しながら取り組みます。

地域共生社会の推進等においては、人生における様々な困難に直面した場合でも、誰もが役割を持ち、お互いが配慮し存在を認め合い、そして時に支え合うことで、孤立せずその人らしい生活を送ることができるようなコミュニティの構築が求められています。

#### イ. 重点的な取組

- (ア) 看護・介護職員の確保による入所者受入体制の維持
- (イ) 看護師確保による感染症予防対策強化とご利用者個々の健康管理体制の充実及び機能訓練体制の確保

- (ウ) 南界小学校・増田小学校をはじめとした地域との交流の継続と充実
- (エ) 嘱託医・協力医療機関との連携強化
- (オ) 町役場や熊毛支庁等の行政機関、地域包括支援センターとの連携強化

## 2. 各事業所の取組

### (1) 特別養護老人ホーム

長期入所においては看護・介護職員の体制を確保し、稼働率の維持向上に向けた取り組みを最重要課題として継続します。

ご利用者の健康管理においては、健康で安心して生活ができるよう感染症対策等を徹底し、健康維持のための機能訓練を充実させ、日常生活機能の維持に努めます。上位条件の看護体制加算取得を目指し看護職員の採用を進めていきます。また、嘱託医・協力医療機関との連携を強化し、医療支援体制の充実に努めます。

介護支援専門員・介護福祉士をはじめとした資格取得をサポートし、総合的な介護支援体制のさらなる充実も図ります。

科学的介護情報システム（LIFE）等の活用、見守りシステム等の積極的な導入を図ることにより生産性向上を高めた上位加算取得も目指します。

日々の生活に生きがいをもって送れるよう尊厳を持った介護・援助に努め、地域に信頼される施設として感染症対策を図りながら園内行事等に家族会や地域の皆様の参加を検討し、ボランティアや実習生の受入など地域との交流を図り、地域社会における当施設の役割の確立に努めます。

また、ご利用者の居心地よい生活を確保するため施設の整備を進め「安心して生活できる場」、「元気を取り戻すことができる場」を目指します。

### (2) 通所介護センター

当センターでは、利用者様がより快適に過ごせるよう、定期的なアンケート調査（評価）を実施しています。その結果をもとに、サービスの改善等を行っていきます。利用者様のニーズに合わせて、柔軟に対応し、寄り添い、温かい雰囲気づくりを目指したサービス提供に努めます。また、季節ごとの行事・レクリエーション等を実施し、生きがいを持って在宅生活が継続できるように支援します。

更に、要支援状態等の利用者様へは可能な限り在宅での自立した日常生活を営むことができるよう生活機能改善のための運動機能向上や栄養改善等、多職種連携を実施します。また科学的介護情報システム（LIFE）等の活用、新たな ICT 機器の積極的な導入、健康維持や QOL 向上に向けた取り組みや利用者様が個人の尊厳を保持し、地域社会において自立した生活を営む事ができるよう利用者様の自立基盤拡充を図りながら「行ってみたい通所介護センター」の確立を目指します。

### (3) 訪問介護センター

生活援助のサービス提供に当たっては、感染症の予防対策を図るとともに、ご利用者様がご自分で出来ることを見極め、在宅での自立した日常生活が少しでも長く継続できるよう支援に努めます。

身体介護のサービス提供については心身の状態を観察、把握し、介護支援専門員をはじめ各関係機関との連携を密にとりながら在宅での生活が安全に送れるよう支援します。また、サービスの質の向上を目的として、毎月研修会を開催し、訪問介護職員のスキルアップを目指します。

更に職員の高齢化も勘案し、将来的な事業継続に向けて職員採用・配置及び教育等を進めます。

#### (4) 居宅介護支援センター

ご利用者の自立支援をもとに住み慣れた自宅や地域で少しでも長く生きがいを持った自分らしい生活が続けられるよう、地域包括支援センター、医療機関、サービス事業所等との連携を深め、サービスの充実を図り、利用者の権利を尊重し、質の高いケアマネジメントの提供を行ってまいります。また、感染症等に対応し、安心して自宅で生活できるようサービスの調整を行ってまいります。

なお職員の高齢化も勘案し、将来的な事業継続に向け職員の増による適正な配置及び教育等の検討を進め、介護支援専門員の育成を行い、より充実したケアマネジメント体制の確立を目指します。

新規利用者の獲得に向け、地域包括支援センターとのさらなる連携を図ります。

#### (5) 共通

算定可能な加算の管理等、確実に算定できるよう努め保険者や関係機関との連携を図りながら確実な請求業務に努めます。

ご利用者・ご家族をはじめ地域の皆様に親しまれ、喜ばれ、信頼される質の高いサービスの提供を目指し、ホームページの内容の充実、SNS等を活用した情報発信を行い、1人でも多くの南界園・慈愛会ファンを増やすため、各事業のサービス内容をより充実させます。

非常に厳しい人材不足の中、職員が安心して働ける職場環境を構築し、魅力ある職場づくりを行い、職員採用につなげます。また、キャリアアップ支援体制を整え、人事考課制度やストレスチェックの積極的な活用により職員が自身の将来に希望を持ち成長しながら安心して長く働き続けられる職場環境の構築を目指します。

### 3. 年間行事計画及び研修計画

区 分	内 容
共通行事	・開園記念行事 ・夏祭り ・敬老会 ・防災訓練 ・奉仕作業
特 養	・ミニ夏祭り ・そうめん流し ・小学校とのふれあい活動 ・クリスマス会 ・飲食店への外出（昼食）
デイ サービス	・誕生会（4半期毎） ・屋外レクリエーション（遠足、紫陽花ロード見学等） ・小学校とのふれあい活動 ・七夕・もちつき大会・初詣
職員研修	・老人福祉施設協議会総会（県、地区） ・新任職員研修会（県） ・職種別研修会 ・県老人福祉施設協議会（施設長会） ・介護技術研修会（県） ・喀痰吸引研修会 ・介護支援専門員連絡協議会 ・給食施設連絡協議会 ・事業所別オンデマンド研修会（随時）
定例会議	・運営委員会 ・給食委員会 ・サービス担当者会 ・安全対策委員会 ・感染症対策委員会 ・身体拘束廃止委員会 ・入所検討委員会 ・教育研修委員会 ・生産性向上推進委員会

#### 4. 施設管理

##### (1) 設備、備品等を定期的に点検し、適切な維持と管理の実施及び花木の適切な管理

##### (2) 災害対策

- ・防災訓練の徹底（夜間・昼間）年3回（消防署訓練依頼1回）、消防設備の点検委託 年2回（届出1回）、電気設備点検（毎月）、消防設備の自主点検の実施（毎月）、地震、台風対策の徹底
- ・地域支援態勢の確保（地域住民との連携）

##### (3) 修繕、改修、購入、工事

###### ・特養

外国人技能実習生等宿舍建設もしくは取得、及び生活家電等の購入（施設整備）

本館を中心とした老朽化対策と施設設備更新（居住環境改善工事）（修繕）

ナースコール機能付き見守り機器の整備（修繕）

ICT 機器及び介護ロボットの導入（備品購入）

###### ・通所介護センター

送迎車購入（普通車）（備品購入）

上記につきまして、設備投資計画に則り下記の通り積立金を計画します。施設整備等を実施する際には補助金等を積極的に活用し、費用の圧縮を図ります。

南界園施設整備等積立金計画 （単位：千円）

科目	内容	積立金額
施設整備	宿舍建設又は購入・設備更新等	168,000
修繕費	居室及び食堂部分の修繕等	31,000
備品購入	空調設備更新・公用車更新等	23,000
合計		222,000

#### 5. 地域社会との連携

- ・地域の保健・医療・福祉サービス事業所との連携
- ・小・中学校とのふれあい事業の推進
- ・小・中・高生ボランティアや体験学習の受入
- ・資格、免許取得実習の受入
- ・教職員介護等体験の受入
- ・園周辺の国道・町道の清掃ボランティア

#### 6. 相談、苦情解決

- ・ご利用者、ご家族の相談・苦情及び要望のご意見等を施設職員としてしっかり受け止め、問題解決、再発防止、改善、解決に向けて取り組みます。また気軽に相談できる環境を作り、誠意をもって対応しサービスの質の向上に努めます。

#### 7. 中長期計画（2026（令和8）年度）

- ・2026（令和 8）年度は外国人技能実習生等の雇用を主体に中長期計画においても下記の事業を実施します。

重点戦略戦略テーマ	具体的な施策対応	施行実行スケジュール
外国人技能実習生等の計画的な雇用	(1) 技能実習生等の雇用（3名／年間）	2025（令和7年）～継続
総合型予防事業への対応	(1) 総合型予防事業の対象者調査 (2) アセスメントプラン見直し (3) 認知症対策：回想法の確立	目標設定実施 2019（令和1年）～継続
特養入所要件の見直しに伴う重度者に対する医療・看護体制の充実	(1) 口腔ケアの充実 (2) 嘱託医及び協力医への連携確保 (3) 看護職員の増員による体制強化	見直し 2019（令和1年）～継続
施設老朽化に伴う改修等	(1) 計画の具体化（補助金の活用） (2) 見守り機器等整備（補助金の活用）	2024（令和6）～継続
施設規模の見直し	(1) 島内人口動態調査 (2) 介護ニーズ人口調査	見直し 2026（令和7）～新規

#### 中長期計画に伴う 2026（令和 8）年度事業計画

事業名	事業費	備考
居室空調設備更新	2,000,000	特養
通所介護送迎車購入	3,000,000	通所介護センター
PAS・高圧ケーブル更新	946,000	特養
外国人技能実習生等宿舍	187,000,000	10戸
見守りシステムの導入	25,000,000	64床分（令和7年度16床分導入）

## 8. 職員管理

### (1) 職員採用計画

- ・事務職（管理職） 1名
- ・介護支援専門員 1名
- ・看護職員 3名
- ・介護職員 6名（外国人技能実習生等含む）
- ・（管理）栄養士 1名
- ・調理員 3名
- ・ヘルパー 1名

### (2) 職員処遇

- ・服務規律と社会的責任の確立

- ・資質向上のための研修・資格取得の推進、サポート体制の構築
- ・医療ケア連携による各職員のスキルアップ研修
- ・健康管理及び交通安全・火災予防の徹底
- ・健康診断 一般職員（年1回）・直接処遇職員（年2回）・腰痛検査（年2回）
- ・インフルエンザ等予防接種補助
- ・有給休暇取得率の向上（令和7年実績 57.3% 1/24 現在）

参考：介護職全国平均有休取得率 53.7%

過去2年間の南界園全職種の平均取得率：74.0%